

日本細菌学会 2024 年第 3 回理事会 議事録

- 日 時：2024 年 12 月 16 日（月） 14：00～17：00
- 会 場：東京駅八重洲倶楽部 第 2・3 会議室
- 出席者：飯田哲也 理事長、
明田幸宏、大原直也、小川道永、垣内 力、川端重忠、金城雄樹、住友倫子、
中川一路、東 秀明 藤永由佳子、松本壮吉、宮田真人、横田伸一 各理事
小松澤 均 学会賞選考委員長、河村好章・三室仁美 両監事
- 欠席者：小椋義俊、高井伸二、内藤真理子 各理事

※五十音順 敬称略

I. 開会（理事長挨拶）

飯田理事長より開会の挨拶がなされた。

II. 確認事項

前回理事会の議事録（案）

追加修正なく議事録は確定した。

III. 総会報告

- 1) 第 97 回総会終了報告（横田伸一 総会長）
横田先生より第 97 回総会の終了報告がなされた。参加者数は 821 名。黒字決算となった。
- 2) 第 98 回総会準備状況報告（藤永由佳子 総会長）
藤永先生より第 98 回総会の準備状況の報告がなされた。
市民公開講座実施は検討中。総会期間中に交流会を開催予定であり、本部主催とする方向性。
総会 3 日目（5/31）の 11:55-12:55（予定）に優秀発表賞の表彰式を実施する。

IV. 報告事項

1) 総務部会報告

- ①総務・渉外担当報告（川端理事）
会員数の現況と推移について配布資料の説明がなされた。
- ②選挙関連担当報告（金城理事）
学会賞選考委員会および名誉会員選考委員の委員長決定について説明がなされた。

2) 財務部会報告

- ①会費・会計担当報告（横田理事）
財務状況について資料の説明がなされた。

3) 広報部会報告

- ①広報・メディア分野担当報告（宮田理事）
- ②HP・SNS 分野担当報告（中川理事）
8/7 に実施した委員会の協議内容について報告がなされた。

4) 産官学連携部会報告

- ①産官学連携分野担当報告（小川理事）
報告事項なし。

5) 学術部会

① 学術支援・評価担当報告（松本理事）

第 97 回総会の優秀発表賞の受賞者が報告された。

② 学術企画分野

1. シンポジウム等企画担当報告（大原理事）

第 98 回総会のシンポジウム・ワークショップ企画の進捗状況の報告がなされた。

2. バイオセーフティ担当報告（飯田理事長）

報告事項なし。

3. ICD 制度協議会等担当報告（明田理事）

ICD 申請について 2 名を本会から推薦したこと、第 98 回総会での ICD 講習会実施について ICD 制度協議会から承認されたことが報告された。

③ 学術交流分野

1. 日本微生物学連盟／日本学術会議担当報告（金城理事）

「野本賞」の募集が行われていることが報告された。

2. 日本医学会連合担当報告（金城理事）

第 4 回 Rising Star リトリートの推薦依頼を受け、理事からの推薦を募った。ただし、本会第 98 回総会会期と重なるため推薦を見送ることとしたが、内 1 名から強い参加希望があったため、同氏を推薦した（第 98 回総会の 3 日目は参加予定）。

3. 予防接種推進専門協議会担当報告（明田理事）

「組換え RS ウイルスワクチンの早期定期接種化に関する要望書」が提出されたこと（本会も承認）、
「2024 年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解（案）」と「ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンキャッチアップ接種期間延長について」協議されている最中であることが報告された。

4. 7 学会合同感染症治療・創薬促進検討委員会（明田理事）

12/4（水）に委員会に出席したことが報告された。

5. 学術交流促進担当（中川理事）

報告事項なし。

6) 教育部会報告

① 次世代教育・人材育成担当報告（垣内理事）

9/27～29 にかけて行われた第 18 回細菌学若手コロッセウムについて報告がなされた。

② 教育資源発掘・保存担当（内藤理事）

報告事項なし。

7) 出版部会報告

① 学会誌担当報告（藤永理事）

12 月 5 日付で細菌学雑誌 79 巻 4 号を J-STAGE で公開したことが報告された。

② M I 誌担当報告（垣内理事）

報告事項なし。

③ 用語集担当報告（松本理事）

厚生労働省政策統括官付参事官付国際分類情報管理室より依頼のあった、ICD-11（死因疾病の用語）の和訳作業を進めていることが報告された。

8) 国際交流部会報告

① IUMS 等担当報告（東理事）

IUMS 側からの最新情報は無いこと、現時点では連携を取ることが難しい状況であることが報告された。

②日韓微生物等担当報告（松本理事・住友理事）

第 97 回総会時に開催された The 16th Japan-Korea International Symposium on Microbiology 日韓合同シンポジウム開催を支援したこと、韓国側から参加した Chungnam National University の Eun-Kyeong Jo 教授から、結核に関するシンポジウム（於 ; Daejeon Republic of Korea、2024 年 12 月 3- 4 日）への招聘打診があり、参加したことが報告された。

9) 社会交流部会

①研究倫理・安全保障分野担当報告（住友理事）

「倫理的配慮が必要となる細菌学研究のフローチャート」について、委員会で協議したことが報告された。

②利益相反担当報告（高井理事）

報告事項なし。

10) その他

V. 審議事項

1) 第 99 回総会長について（2026 年開催）

飯田理事長より、小松澤 均 氏に打診し承諾を受けたことが述べられ、本理事会で協議の結果、承認された。最終承認機関は評議員会のため、評議員会の議題に挙げることとなった。

2) 第 100 回総会長について（2027 年開催）

飯田理事長より、現在 1 名に打診している最中であることが述べられた。

3) 名誉会員選考委員会の選考結果について

名誉会員選考委員会（委員長：堀口安彦氏）より書面にて、中根明夫氏を名誉会員として選考したことが報告された。協議の結果、同氏を名誉会員として承認した。

4) 学会賞選考委員会選考結果について

学会賞選考委員会の小松澤委員長より、選考結果報告書をもとに選考経過が説明された。協議の結果、浅川賞は川端重忠氏、小林六造記念賞は野澤孝志氏、黒屋奨学賞は橋本佑輔氏の受賞が承認された。

また、小松澤委員長より「次期委員会への申し送り」が提示され、1) 被推薦者への選考結果内容へのフィードバック、2) 学会ホームページへの受賞者の選考結果掲載について、選考委員会の協議結果が説明された。協議の結果、「評議員会で、選考委員長からその年の総評を述べる」方向性となった。

5) 優秀発表賞の審査について

松本理事より、これまでは総会 2 日目夕刻に選考し、その後すぐに表彰式を実施するスケジュールとしてきたが、次回からは、総会 3 日目に選考と表彰式を行なう方向性にしたいことが述べられた。協議の結果、承認された。

6) 「日本細菌学雑誌の編集方針と投稿規定」への追記に関して

藤永理事より、「著作権」について明確にするため、編集委員会で協議した「編集方針と規定」の改定案が提示された。また、今後投稿者には、著作権は学会に帰属することの「承諾書」の提出も求めることも述べられた。協議の結果、承認されたが、ただし「抄録」については学会ではなく発表者に帰属すると判断したことから、その内容を更に追加することになった。追記内容は編集委員会で審議する。

7) 「倫理的配慮が必要となる細菌学研究のフローチャート」

住友理事より、学会 HP に掲載されている「研究の際の倫理的な留意事項」の内容は現在に合わせてアップデートする必要があると判断し、委員会で協議したことが報告されると共に、その内容が提示された。協議の結果、承認された。

8) 各支部からの 2025 年活動支援要請について

飯田理事長より、北海道、東北、関東、中部、関西、中国・四国の計 6 支部から、2025 年度活動の支援要請を受けられたことが述べられた。横田会計理事より、2025 年度予算案を作成し、財政の全体像をもとに次回理事会で継続審議することが提案され、協議の結果、その方向性が承認された。

9) 口腔保健協会からの事務委託費の改定依頼について

飯田理事長より、口腔保健協会から事務委託費の改定に関する要望を受けたことが述べられた。

具体的には、これまでの

「基本料金（月額）175,000 円＋員数料金 40 円×会員数（会務総会報告数）」を

「基本料金（月額）200,000 円＋員数料金 50 円×会員数（会務総会報告数）」に改定したいとのことだった。

学会事務局（担当：早瀬）より、当初契約時より業務量が増加していること、それに伴う委託費改定依頼を学会財政状況が改善されるまで見送ってきた経緯等が説明され、仮に改定が不承諾の場合は業務量を削減することが述べられた。協議の結果、改定を承認する方向性とするが、次回理事会での 2025 年度予算案協議時に最終決定することとなった。

10) 中西印刷株式会社との 2025 年度契約について

中西印刷株式会社からの契約書案が提示され、協議の結果、承認された。

11) 次回理事会の開催日および開催形式について

次回は web 形式で、3 月に開催予定とすることとなった。

12) 2025 年の評議員会の開催時期および開催形式について

例年は 3 月の総会開催日の前日に実施しているが、次回の総会会期は 5 月末のため、web 形式で 3 月下旬～4 月上旬に開催を予定されることとなった。

VI. 閉会